

東京バッハ合唱団 月報

[第 569 号] 2009 年 11 月

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 5-17-21-101 郵便振替：00190-3-47604
Tel：03-3290-5731 Fax：03-3290-5732
mail: bachchortokyo@aol.com http://www2.tky3web.ne.jp/~bach/chor/

BACH-CHOR, TOKYO

Monthly Newsletter No.569
November 2009

5-17-21-101 Funabashi,
Setagaya-ku, Tokyo

特別演奏会プログラム

バッハの音楽でクリスマス

日時：2009年12月5日(土)16時開演
(15時30分開場、17時30分終了予定)
会場：世田谷中央教会 礼拝堂
(東急田園都市線「桜新町」駅下車・徒歩4分、
サザエさん通り)

<プログラム>

1. カンタータ第124番 (イエス 共にあらん)
2. モテット(第1番) (歌え主に向かいて 新たな歌)
休憩
3. クリスマス・オラトリオ第2部 (この地に野宿して)
4. 讃美歌 - 会衆と共に
「讃美歌21」246 (天のかなたから)
「讃美歌」104 (きたり聞けよ み告げを)

<出演者>

テノール：鏡 貴之
フルート：山田恵美子
ピアノ：内山亜希

特別出演：こどもバンド

ソプラノ：川合満里子(団員)
バス：室田 悟(団員)
合唱：東京バッハ合唱団
指揮：大村恵美子

入場整理券：1,000円
座席数に限りがありますので、あらかじめ<入場整理券>をお求めください。満席の場合には、当日のご入場をお断りすることもございます。ご了承ください。

お申し込み/お問い合わせ：東京バッハ合唱団
電話：03-3290-5731 FAX：03-3290-5732
E-mail：bachchortokyo@aol.com

主催：東京バッハ合唱団

歌詞 (大村恵美子訳)

1. カンタータ第124番 (イエス 共にあらん)
Kantate »Meinen Jesum laß ich nicht« BWV 124

1. 合唱

イエス ともに あらん
わがため その身を
与えたまいぬ
主に 従いゆかん
いのちの光
イエス ともに あらん

(Ch.カイマン「イエス ともにあらん」)

2. レチタティーヴォ(テノール)

わが 生ける かぎり
ただ イエス のみ
わが いのち
わが すべて なるべし
大いなる 恵み 給う 主に
わが ささぐるは
ただ わが 身と たま のみ

3. アリア(テノール)

むごき 死 襲いて
わが 身を 砕くとも
滅びの 日 来たりて
戦(おのの)かしむるとも
信ずれば 慰む
イエス ともに ありと

4. レチタティーヴォ(バス)

されど
いかなる 禍(わざわ)い
なお 襲いきたらん
いたく 病める 胸
イエス いまさずば
暗き 虚(うつ)ろと 変わり果てなん
いざ わが たま 上げ みくにを
望みに あふれ
旅路の はてに 至る
主 イエスの みくにを

5. アリア 二重唱 (ソプラノ・アルト)

別れ 告げよ この世に
みくにに まことの 喜びを 受くべし
救い主に まみゆる とき
懐(あこが)るる 心 高めらるべし
イエスに ありて 安きを 得べし

6. コラール

イエス とともに あらん
とわに わが かたえに
導きたまわん
いのちの 小川に
幸なる 民よ
イエス とともに あらん

(コラール同前)

2. モテット(第1番)《歌え主に向かいて 新たな歌》

Motette »Singet dem Herrn ein neues Lied« BWV 225

1. (合唱 , 合唱)

うたえ 主に 向かいて 新たな 歌
きよき み民らは 主を 讃えん
イスラエル よろこべ その 造り主を
シオンの 子らは こぞりて ほめ讃えよ
来たりて 主の み名を あがめよ
鼓(つづみ)と 琴をもて 奏でよ

(詩編 149:1-3)

2. アリア(合唱)とコラール(合唱)

主 かえりみたまえ
主 なくば すべての
業(わざ)も むなし
われらが 守り 光と なりたまえ
まことなる 望み
われらを 導きたまわん
幸なるかな
み恵みに たよる 者

父の 慈(いつく)しみ
幼な児に およぶごと
主の 憐みは
われらに 注がる
貧しき われらを
神 知りたもう
枯れ葉の ごとく
花の ごとし
風 吹くままに
消え去りゆく
人も また しかり
終りは 近し

(J. グラマン「いざわが魂よ 主を頌めまつれ」)

3. (合唱 , 合唱)

頌(ほ)めうたえ み業(わざ)を
主の 大いなる み栄を

(詩編 150:2)

4. (合唱)

讃えよ 命あるもの みな
ハレルヤ

(詩編 150:6)

3. クリスマス・オラトリオ第2部 《この地に野宿して》

Kantate »Und es waren Hirten in derselben Gegend«
BWV 248/II.

10. シンフォニア

11. 福音史家(テノール)

この地に 野宿して
夜 群れを 守りおる 牧人らの ありしが、
見よ、あまつ み使い 来たり、
栄光 あたりに 満ちたれば、
いたく おそる。

(ルカ 2:8, 9)

12. コラール

きよらの あげぼの
光を はなて
牧人 おそるな
み使い 告ぐるを
この みどり児こそ
われらが よろこび
悪魔を やぶる
平和の 主なり

(J. リスト「勇めよわが魂 望みに燃えて」)

13. 福音史家(テノール・ソプラノ)

テノール

み使い かれらに 言う：

ソプラノ

おそるな みよ、大いなる 喜びを われ 汝らに 告げん。
きょう ダビデの 村にて、
汝らの 救い主 キリスト 生まれたまえり。

(ルカ 2:10, 11)

14. レチタティーヴォ(バス)

み神は アブラハムに
昔 約せし ことを
いま 成したもう
ひとりの 牧人
世に 先立ちて
誓いの みわざの
成しとげられしを
告げ知らさる なり

15. アリア(テノール)

牧人らよ 行けや ゆけ
ためらわず 行きて まみえよ
やさしき み子に
ゆきて 喜び 心のしめ
いざ 心のしめ いざ 心
ゆきて 喜び 心のしめ

16. レチタティーヴォ(ソプラノ)

みどり児は 布に つつまれ 馬ぶねに 伏しおらん .
そを なれらは 見ん .

(ルカ 2:12)

17. コラール

いぶせき うまやに
光 満ちみちて
いと きよき み子の
憩いたもうを 見よ

(P.ゲルハルト「見よ 見よ 奇跡の何たるかを」)

18. レチタティーヴォ(バス)

されば ゆけ, 牧人よ
とうとき み子
粗き 馬ぶねに
伏したまえるを 見よ
声 あわせ
やさしき 歌を うたえ
憩いたもう
み子の かたえに

19. アリア(アルト)

眠れ いとしき み子よ 憩え
めざめて 栄え うけよ
さわやかに
目覚めよや
われらも よろこばん

20. 福音史家(テノール)

たちまち み使いらに 天の 軍勢 加わり,
ほめたたえ 言う:

(ルカ 2:13)

21. 合唱

栄(は)え あれ み神に
地には 平和 主の 民に

(ルカ 2:14)

22. レチタティーヴォ(バス)

この日 み使いら 歌う
成しとげられし ことを
されば われらも
ともに 歌い 喜ばん

23. コラール

み使いと ともに
われら ほめうたわん
待ちにし 客人(まろうど)
いまし 来たれりと

(P.ゲルハルト「われら汝にむかいて歌う インヌエール」)

4. 讃美歌 - 会衆と共に

(配布の楽譜をご覧ください)

「讃美歌 21」246 (天のかなたから)

(原詞・旋律ともマルティン・ルター・直前に演奏の「クリスマス・オラトリオ」第 17 曲, 第 23 曲は, いずれもこのコラール旋律による)

1~3: テノール独唱 (天使)

4~7: 会衆とコーラス (こどもたち)

「讃美歌」104 (きたり聞けよ み告げを)

(ボヘミア民謡)

前奏: こどもバンド

1: コーラス (無伴奏)

2, 3: 会衆, コーラス, こどもバンド

< 出演者のプロフィール >

テノール: 鏡 貴之

岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コース卒業 . 東京芸術大学大学院修士課程独唱専攻修了 . 声楽を佐々木まり子, 佐々木正利, 多田羅迪夫の各氏に師事 . 主に宗教曲, オラトリオのソリストとして東京近郊を中心に活動, 特にバッハの作品では「クリスマス・オラトリオ」「ヨハネ受難曲」「口短調ミサ曲」や多数の教会カンタータのソロを務める . 他にモーツァルト「レクイエム」, ハイドン「十字架上の七つの言葉」, シューベルト「ミサ曲第 6 番変ホ長調」, ベートーヴェン「第九」, 芸大合唱定期でブルックナー「テ・デウム」「ミサ曲第 3 番へ短調」などに出演 . 2007 年東京バッハ合唱団第 100 回定期演奏会「マタイ受難曲」公演ではエヴァンゲリストとして好評を博した . 盛岡バッハカンタータフェライン, 芸大バッハカンタータクラブ, 21 合唱団, 日本声楽発声学会, グルッペベッヒライン各会員 . バッハコレギウムジャパン, メンバー .

フルート: 山田 恵美子

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校をへて, 同大学音楽学部器楽学科を卒業 . 林りり子, 吉田雅夫, 川崎優, 野口龍の各氏に師事 . 大学在学中に第 45 回日本音楽コンクール第 2 位に入賞 . また学内にて安宅賞を受賞した . その後ウィーン国立音楽大学に留学し, ルイス・リヴィエール, マインハルト・ニーダーマイヤーの各氏に師事する . ウィーン, 東京, 福岡, 横浜においてリサイタルを行い, 好評を得る . 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団を経て, 現在, 神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席フルート奏者 . コンチェルトのソリストとしてオーケストラと協演, またテレビ, FMリサイタル等にも出演している . 1995 年より「かながわ音楽コンクール」管楽器部門の審査員 . 東京バッハ合唱団の定期演奏会に数多く出演 .

ピアノ: 内山 亜希

東海大学教養学部芸術学科音楽学課程卒業 . 読売新人演奏会, 神奈川県立音楽堂新人演奏会に出演 . その後同大学大学院において音楽学を専攻, 修了後渡独 . 国立フライブルク音楽大学大学院リート科修了, 帰国後リサイタルや演奏会, NHK-FM リサイタルなどで声楽, 管弦楽器, 合唱の伴奏を中心に活動 . これまでに山田明美, 故内藤三保子, 高橋裕希子, ラモン・ヴァルター各氏に師事 . 東京バッハ合唱団ピアニスト, ハヤサカ音楽教室講師 .

全部おすすめ 50 曲選!!

ひさびさの登場です。……………

今年の 3 月に大学院を卒業して、岡山の蕃山町教会に伝道師として赴任なさった元バス団員の柳元氏が、連載原稿をお寄せくださいました。

これからも、折々にとどくお便りを楽しみにしています。

柳元 宏史

連載：全部おすすめ 50 曲選!! <その 21>

カンタータ第 124 番 《イエス ともにあらん》

岡山に赴任して 7 カ月が過ぎるころ、ドイツより無事に帰国なさった合唱団事務局より、月報在中の封筒が届いた。演奏会の成否もふくめて、寄付金も達成されたのかどうか気になっていたもので、すぐに封にハサミを入れた。すると、演奏旅行の成功と寄付金の達成の報告、モノクロではあるが懐かしの団員のみなさんの楽しそうな顔をみることができ、感慨極まるものがあった。信念によってドイツ演奏旅行を実現なさった合唱団に、こころより「おめでとうございます!!」と申し上げたい。

さて、同封されていたものの中に、本年 12 月 5 日の演奏会のチラシも入っていた。『バッハの音楽でクリスマス』という上品なタイトルのチラシである。演奏する曲はなんだろう、と目を下に向けると、カンタータ第 124 番とあった。

むむ? これは、たしか「50 曲選」にあったぞ。CD を探してみると、やはり収録されていた。演奏は 1998 年 12 月 13 日、石橋メモリアルホールでの第 84 回定期演奏会のものである。あった、あったと、さっそく聴いてみた。軽く、のびやかなオーボエ・ダモーレに導かれて、合唱がはじまる。久しぶりにカンタータを聞いた私は、思わず、目白の練習場が目についた。オケ合わせをししば行った会場だ。

合唱の歌詞は、イエス ともにあらん / わがため その身を与えたまいぬ / 主に従いゆかん / いのちの光 / イエス ともにあらん とある。

この一節のモチーフが、カンタータの性格を明確にしていると感じた。イエスの誕生を祝い、健やかな成長を祈るカンタータだが、後にそのイエスが、十字架で、人間の罪を背負って死んだことから目をそむけない。誕生して、めでたし、めでたし、ではない。何のために誕生したのか、その真髄をバッハは注視する。そのことを具体的に、3 曲目のアリアでテノールが歌い上げる。

こよなく人間を愛し、慈しんだイエスが ともにあらん。「決してあなたは独りではない。この世のすべての苦しみを嘗め尽くしたわたしが、あなたの傍らにいて励ます」という方がここにはいる。この世を生きるわたしたちにとって、大きな希望の光と映る。

岡山でもこの希望の光は輝いている。東京の世田谷の地でも美しく、楽の音とともに輝くことを、せつに祈っている。

(やなぎもと・ひろし、団友・蕃山町教会伝道師)

バッハ・カンタータ [日本語歌詞つき] 楽譜全集

新規シリーズ第 11 回配本、全体の 61 冊目を刊行!
第 104 回定期 (2010 年 6 月) 上演

カンタータ第 17 番 《感謝ささげ ほめ歌う者に》

„Wer Dank opfert, der preiset mich“ BWV 17

2000 年に出版を開始したバッハ・カンタータ [日本語歌詞つき] 楽譜シリーズは、2004 年に「50 曲選」を完結したのちも、定期演奏会の上演計画と平行して、随時に新規の楽譜発行をつづけています。

本年 2009 年は、ヨーロッパ演奏旅行実現のため、春と冬の定期演奏会を割愛させていただいたので、予定していた当シリーズの続刊も滞っておりましたが、次回の定期 (第 104 回、2010 年 6 月予定) では、いよいよ「感謝のカンタータ」第 17 番《感謝ささげ ほめ歌う者に》を取り上げることとなり、この楽譜がシリーズの第 61 曲目の 1 冊に加わりました。

この曲は、バッハのライブツィヒ着任 3 年目の 1726 年 9 月 22 日、三位一体節後第 14 日曜日に初演されたことが知られています。この日の福音書記事、ルカ 17 章 11-19 節は、癒された 10 人のらい病患者のうち、感謝をしにイエスのもとに「大声で神を賛美しながら」戻ってきたのは、ただ 1 人のサマリヤ人だった、という話。冒頭の合唱曲は「感謝ささげ ほめ歌う者に 救いを示す道あらわさん」という神からの宣告 (詩編 50 : 23) をテキストとする、規模の大きなフーガです。音楽は後に小ミサ曲 BWV236 の終曲 Cum Sancto Spiritu に転用されました。その、なんと晴朗な感謝の気持ちにあふれた、楽観的この上もない曲想は、いちど耳にしたら忘れられないものになるはずです。

お早めにお手にとって、コンサートをお待ちいただければ幸いです。

1 冊 : 1400 円

(団関係者には、送料とも、本体価格でご提供します)

「バッハ・カンタータ 50 曲選」(全 50 冊) と、新規シリーズ既刊 11 冊の内容については、資料をご請求ください。折り返しお送りいたします。

出版局のホームページでも、詳しくご覧いただけます :

<http://www.ab.auone-net.jp/~bach/>

<http://www.ac.auone-net.jp/~bach2/>

CD バッハ・カンタータ 50 曲選 [第 15 巻] に収録 . S 光野孝子 , A 佐々木まり子 , T 佐々木正利 , B 渡邊明 . 大村恵美子指揮・東京バッハ合唱団 / 東京カンタータ室内管弦楽団 . 1998 年録音 (第 84 回定期演奏会, 石橋メモリアルホール) 楽譜 : 「50 曲選」 No. 36